

成澤君、地元の写真展でダブル受賞！

上原 昇（2組）

成澤文和君（4組、さいたま市南区在住）は写真撮影を趣味としています。
9月18日から2週間にわたり地元の南浦和で開催された初の個展の様子は、先日HPで紹介されました。
この度、成澤君が応募した作品がさいたま市の二つの写真展で、見事ダブル入賞・入選を果たしました。

まず、第16回さいたま市南区まちづくり写真展では、入選した7名のうちの一人で、「まちづくり写真賞」を受賞しました。受賞作は『朝のお出かけ』と題するほのぼのとした一品です。9月30日に栄えある表彰式が行われたとのこと。

『朝のお
出かけ』



つぎは、第19回さいたま市美術展覧会（通称：市展）です。同展は日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門を10月5日（火）から31日（日）まで4期に分けて、「うらわ美術館」（浦和区仲町二丁目）で開催しています。

今回、多数の応募作の中から選ばれた654点が展示されます。

写真の部で入選した成澤君の作品『神秘の空間』は先日の個展でも展示されていて、鑑賞した同期の間でも評判になっていました。

ブルーの色が神秘的な美しさを醸し出す同作は、4年前に地元写真クラブの撮影会で訪れた宇都宮の大谷資料館で撮ったものです。

同展には、10月9日（土）、仲間を代表して、関賢治君（2組、蕨市在住）と上原（さいたま市在住）が行ってまいりました。



さいたま市美術展覧会会場入口で成澤君



成澤君の入選作『神秘の空』



展覧会会場で成澤君と関君

(21年10月9記)